

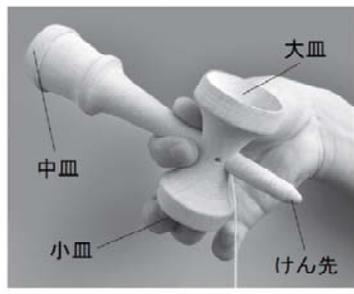
平成29年度 B2三

2 石井さんは、けん玉についてスピーチをします。次は、石井さんがスピーチをするために読んだ【本の一部】、リハーサルで実際に話した【スピーチ】、リハーサル後に友達からもらった【意見1】、【意見2】です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。（【スピーチ】の□は、その箇所で〈実演〉を行うことを表します。〈実演〉は三回とも同じ動作を行います。）

【本の一部】

「大皿」という技について説明します。まず、けん玉を下の図のように持ちます。次に、ひざを曲げながら、けん先を下にして手を少し下げます。続いて、ひざを伸ばしながら、下げた手を戻す勢いで玉をまっすぐに引き上げます。引き上げた玉が落ち始める寸前は、玉が一瞬静止した状態になるので、玉を捉えやすくなります。このときに玉の真下に素早く皿を持ってきて、ひざを曲げながら受け止めます。ただひざを曲げればよいということではありません。玉の動きに合わせてひざを曲げるのです。ひざの動きは「大皿」に限らず、けん玉の多くの技を行う際に重要な動きです。特に、皿で玉を受け止めるときには、皿と玉がぶつかるときの衝撃をやわらげる効果があるのです。

【図】



【スピーチ】

今日は、けん玉の「大皿」という技を取り上げて、技を上手に決めるコツについて説明します。「大皿」というのは、けん玉の一番大きな皿に玉を乗せる技です。「大皿」はこのように行っています。まずはどのような技なのか見てください。〈実演〉一回目

「大皿」のコツは二つあります。

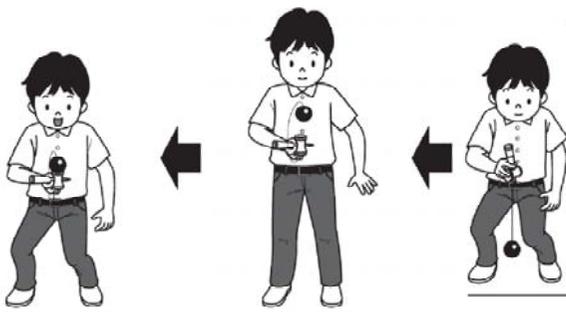
一つは、引き上げた玉が落ち始める寸前に、玉の真下に素早く皿を持つてくることです。玉の動きが一瞬静止した状態になるこのタイミングだと玉を捉えやすいので、成功する確率が高くなります。では、やってみます。〈実演〉二回目 少し難しいかもしれませんが、何度か繰り返してやっていると、徐々にタイミングがつかめるようになります。

もう一つのコツはひざをうまく動かすことです。では、ひざの動きに注意して見てください。

〈実演〉三回目 始めにひざを曲げます。そしてひざを伸ばしながら玉をまっすぐに引き上げます。玉を受け止めるときは、ひざの動きも重要です。玉を受け止めるときは、今私がやったようにひざを動かすとよいです。

コツが分かったでしょうか。皆さんも、ぜひ、この二つのことに気を付けながら、「大皿」という技をやってみてください。

〈実演〉



【意見1】

三回目の実演のときは、どこに気を付けて見ればよいかが分かりやすかったので、二回目の実演のときも同じようにするとよいと思います。



【意見2】

「今私がやったようにひざを動かすとよいです」というところは、どのようにひざを動かすのかが分かりづらかったです。それに、なぜひざを動かすとよいのかについても説明してほしいです。



※ 問題は、次のページに続きます。

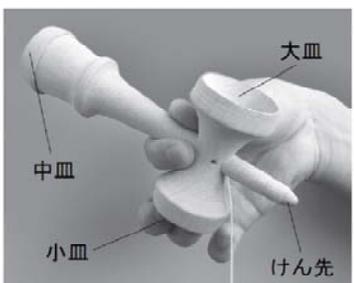
平成29年度 B2三

2 石井さんは、けん玉についてスピーチをします。次は、石井さんがスピーチをするために読んだ【本の一部】、リハーサルで実際に話した【スピーチ】、リハーサル後に友達からもらった【意見1】、【意見2】です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。(【スピーチ】の□は、その箇所で〈実演〉を行うことを表します。〈実演〉は三回とも同じ動作を行います。)

【本の一部】

「大皿」という技について説明します。まず、けん玉を下の図のように持ちます。次に、ひざを曲げながら、けん先を下にして手を少し下げます。続いて、ひざを伸ばしながら、下げた手を戻す勢いで玉をまっすぐに引き上げます。引き上げた玉が落ち始める寸前は、玉が一瞬静止した状態になるので、玉を捉えやすくなります。このときに玉の真下に素早く皿を持ってきて、ひざを曲げながら受け止めます。ただひざを曲げればよいということではありません。玉の動きに合わせてひざを曲げるのです。ひざの動きは「大皿」に限らず、けん玉の多くの技を行う際に重要な動きです。特に、皿で玉を受け止めるときには、皿と玉がぶつかるときの衝撃をやわらげる効果があるのです。

【図】



【スピーチ】

今日は、けん玉の「大皿」という技を取り上げて、技を上手に決めるコツについて説明します。「大皿」というのは、けん玉の一番大きな皿に玉を乗せる技です。「大皿」はこのように行っています。まずはどのような技なのか見てください。〈実演〉一回目

「大皿」のコツは二つあります。

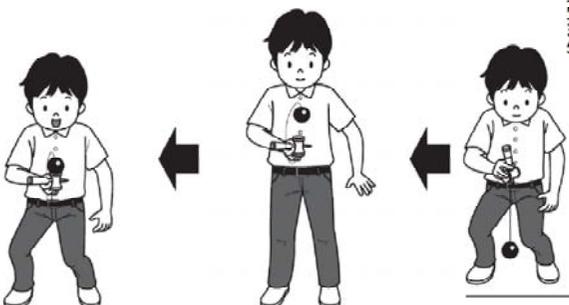
一つは、引き上げた玉が落ち始める寸前に、玉の真下に素早く皿を持つてくることです。玉の動きが一瞬静止した状態になるこのタイミングだと玉を捉えやすいので、成功する確率が高くなります。では、やってみます。〈実演〉二回目 少し難しいかもしれませんが、何度か繰り返してやっていると、徐々にタイミングがつかめるようになります。

もう一つのコツはひざをうまく動かすことです。では、ひざの動きに注意して見てください。

〈実演〉三回目 始めにひざを曲げます。そしてひざを伸ばしながら玉をまっすぐに引き上げます。玉を受け止めるときはひざの動きも重要です。玉を受け止めるときは、今私がやったようにひざを動かすとよいです。

コツが分かったでしょうか。皆さんも、ぜひ、この二つのことに気を付けながら、「大皿」という技をやってみてください。

〈実演〉



【意見1】

三回目の実演のときは、どこに気を付けて見ればよいのかが分かりやすかったので、二回目の実演のときも同じようにするとよいと思います。



【意見2】

「今私がやったようにひざを動かすとよいです」というところは、どのようにひざを動かすのかが分かりづらかったです。それに、なぜひざを動かすとよいのかについても説明してほしいです。



※ 問題は、次のページに続きます。

三 石井さんは、「意見2」を受けて、「スピーチ」の——線部「玉を受け止めるときは、今私がやったようにひざを動かすとよいです。」を聞き手に分かりやすいように直すことにしました。あなたならどのように直しますか。次の条件1と条件2にしたがって書きなさい。

なお、読み返して文章を直したいときは、二本線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。

条件1 【本の一部】を参考にして、「意見2」にある「どのようにひざを動かすのか」と「なぜひざを動かすとよいのか」が分かるように書くこと。

条件2 「玉を受け止めるときは、」に続けて、四十字以上、八十字以内で書くこと（解答用紙に書かれている書き出しの字数を含みます。）。

例	玉	を	受	け	止	め	る	と	き	は	、	今	私	が
や	っ	た	よ	う	に	、	玉	の	動	き	に	合	わ	せ
て	ひ	ざ	を	曲	げ	る	と	よ	い	で	す	。	な	ぜ
な	ら	、	皿	と	玉	が	ぶ	つ	か	る	と	き	の	衝
撃	を	や	わ	ら	げ	る	効	果	が	あ	る	か	ら	で
す	。													